



綾川中学校開校2年目 今年度も見事な「学級旗」が完成しました!

令和5年度の各学級の学級旗が完成しました(別紙)。開校1年目に制作した学級旗に負けず劣らず見事な出来栄の作品が完成しました。我が学級のシンボルを教室に掲げようという思いを馳せながら、全校生徒がそれぞれの学級の原画を考え、採用された図案をもとに4月13日(木)から約2週間、学級旗制作委員等による制作活動が行われました。放課後の限られた時間と期間の中で、集中して作業に取り組む姿からは、よりよい作品に仕上げようとする意気込みが感じられました(写真参照)。



さて、昨年度もこの紙面で述べましたが、学校の教育活動には、勝ち負けや序列がつくなど、競争原理が働く活動がいくつかあります。その代表的なものとして、中間テスト、期末テストの結果や部活動の試合、体育祭や校内音楽祭、生徒会専門委員会活動等におけるクラスマッチ形式での取組等があります。そして、子どもたちは望む結果が得られ喜ぶことがあれば、思うようにならず悔しがったり反省したりすることがあります。



これらの経験は、心を刺激し、次なるモチベーションへのプラスの効果が大きい期待できます。一方で、活動のモチベーションが競争によるものばかりになると、うまくいかないことが続いたときに気持ちを保つことが困難になったり、次なる活動に向けた意欲の低下につながったりすることが懸念されます。

【1年生の制作風景】



今回の学級旗の制作活動においては、昨年度同様「学級旗コンクール」という競争があったわけではありません。只々、学級のシンボルを掲げたい、みんなのために作品を仕上げたいという思いに基づく活動であり、自分たちのオリジナルの旗を完成させることができたという自己有用感や達成感が味わえた、中学生としての心の成長に資する活動だったと言えます。



【2年生の制作風景】

綾川中学校では、教育活動それぞれの意味や意義を考えさせ競争原理に基づかない教育を大切にしようとしています。

今年度は特に、「時を守り」「場を清め」「礼を正す」というキーワードを掲げ、その一環として「7:55登校」「無言清掃」「挨拶」「廊下歩行」「話の聞き方」等の意義を子どもたちに示しました。そして現在、競争はなくともその意味を理解し、昨年度以上に頑張る素直な子どもたちの姿が見られます。

これらの取組は、望ましい行動様式を身に付けたり、自ら考えて行動する自主性を育んだりして、大人としての振る舞いを身に付けることにつながると考えています。

このように「美しい『あ・や・が・わ』の創造」に向けて「ともにチャレンジ!」する綾川中学校開校2年目の取組がスタートしています。



【3年生の制作風景】

完成！ 令和5年度「学級旗」

【1年】

【2年】

【3年】

【1組】



【2組】



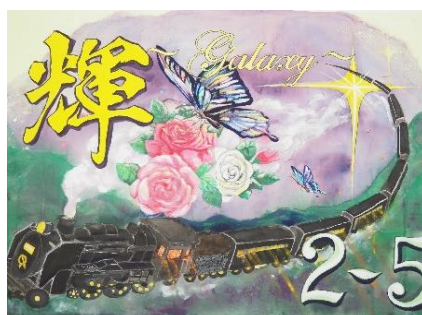
【3組】



【4組】



【5組】



【6組】

